

名前：

何ヶ月前、韓国の有名な俳優のうらが、インターネットの無分別なじょうほうにきざついで自死するじはんがあつたのである。このように最近インターネットのたいしょうがにによる無分別なじょうほうのながれが問題になつてゐる。どちらが真実で、どちらがうそかわからないまま、人たちにしぜんにじみてゐるわけだ。こういうことで、インターネットニュースももちろん100パーセント信じられるのではないでしょう。

インターネットには、まず、「じょうほうをだれが最初書いたのか」をわかにくい、事実ではない記事があつてもすぐ直せないし、けいさつをよんでつかまないとだれもあやまらななく、せきにんを追ふことである。このいゆうで、人たちはあるいとは思ふなく、ただ自身が考えた、事実かでないかしろないじょうほうをインターネットにけいさいしてしまふと二つである。

では、インターネットのニュースのばあいは

をみましょう。インターネットニュースは、新聞でもうしろをいふと二つ以外には、別のうらの人にアルバイトとかでも記者になつてゐるのだ。頑張つたら私たちもいつでもなれるのである。こんな市民記者は、上でいふたとさう、自分がどんな記事を書いても大きなせいせき感がないと思つてもいいでしょう。インターネットニュースは人たちがもっと多く見ればいい、というところでも、と強いタイトルで、強い言いようを書いていくのである。

また、インターネットニュースは、そのかくじつではない記事であつてもすぐにはやくしみていくのである。有名な話のばあいは、1分に何百つの記事がつくられるくらいがある。これをみんなのあたまにのこしてしまふのだ。

もちろん、このインターネットニュースはすべてのことが悪いということではない。しかしけんしょうさめなかつた記事を読みとるのとばりに信じたらたいへんなのだ。こういう

1800字

ことで、インターネットニュースがあつても、新聞や雑誌はあるべきではないでしょうか。